

## KCCAC メールマガジン第 4 号 (2023 年 3 月 27 日発行)

こんにちは、京都気候変動適応センター

(KCCAC/Kyoto Climate Change Adaptation Center) です。

このメールマガジンでは、KCCAC の活動、気候変動に関するコラム、  
関連情報などをお届けします。

\*\*\*\*\*

### 【第 4 号目次】

#### 1. KCCAC オンラインシンポジウム

「気候変動と農業－京都における課題－」を開催しました

#### 2. KCCAC 活動報告

#### 3. KCCAC メンバーコラム

#### 4. 関連情報

#### 5. 編集後記

\*\*\*\*\*

### 1. KCCAC オンラインシンポジウム

「気候変動と農業－京都における課題－」を開催しました

2023 年 2 月 20 日 (月) 14:00-16:00 に、

KCCAC オンラインシンポジウム「気候変動と農業－京都における課題」を  
開催しました。

詳細はこちらから→<https://kccac.jp/symposium/>

当日は最大 91 名の方がご参加くださいました。

参加者アンケートからは、「大変勉強になりました」

「適応の必要性を説きつつ、同時に適応の限界と緩和の重要性を示す  
普及啓発を今後していきたい」といったような積極的なご意見がありました。  
一方で、「具体的な行動は余り考えつかないというのが実情です」といった  
率直なご意見もいただきました。

皆様からいただいたご意見をふまえ、KCCAC は今後も活動を続けていきます。  
ご参加くださいました皆様、そしてアンケートにご協力くださいました皆様、  
誠にありがとうございました。

### 2. KCCAC 活動報告

2023 年 1 月～3 月の KCCAC の活動の一部を紹介します。

#### (1) 有識者検討会の開催

KCCAC の令和 4 年度取組分野のうち、以下の 3 分野について、有識者の方々に今年度の進捗を報告し、今後に向けてのご意見やアドバイスをいただきました。

○農作物（水稲）：2月6日（月）13:00-14:00

○景観・庭園：2月17日（金）10:30-11:30

○暑熱：2月17日（金）13:00-14:00

#### (2) 丹後地域における農業従事者の方々へのインタビュー調査

KCCAC は令和 4 年度の取組の重点項目の 1 つに、

「コメへの気候変動影響の調査と必要な対策の検討」を掲げています。

このうち、「必要な対策の検討」について、

京都府内で稲作が多く行われている丹後地域において、

2月10日（金）～11日（土）および3月2日（木）に KCCAC の職員が現地に伺い、

11 名の方々にインタビューにご協力いただきました。

インタビューでは、日々の農作業で感じる気候変動影響や、

適応策に関する皆様のお考えについて、質問しています。

ご協力くださいました皆様に、厚く御礼申し上げます。

調査結果は追って報告いたします。

#### (3) 「与謝野町のコメの未来を考える」(3/1) にて報告

3月1日（水）、与謝野町の野田川わーくぱるにて開催された研究集会

「与謝野町のコメの未来を考える」に KCCAC から一原が登壇し、

「農家の方々を描く、気候変動下における農業の将来像：

アンケート調査のねらい」と題する報告を行いました。

当日は、草刈りの大変さや農作業に従事する女性の割合が少ない実態などについて、

参加者からコメントをいただきました。

#### (4) 農業関係者、政策担当者および研究者によるフューチャー・デザインを実施(3/14)

3月14日（火）、KCCAC は地球研の戦略プロジェクトの 1 つである

「フューチャー・デザインプロジェクト」との共同研究として、

KCCAC からの呼びかけに応じてくださった農業従事者の方々、

研究者の方々、政策担当者（KCCAC の府市職員）による

「京都における農業の未来を皆で考える Future Design 準備会」を実施しました。

当日は、各分野 1 名からなる班を 3 つ構成し、2053 年の京都で各々がどのように

農業と関わっているか、また、描いた未来に到達するために現在からどのような

選択を重ねて未来に向かえばよいか、各班で討議を行いました。

今後、今回の結果を整理・分析し、次回以降につなげてまいります。

※フューチャー・デザインとは、現代世代の人々が将来可能性（現世代が将来世代のためなら喜んで我慢をしたいという気持ち）を最も発揮できるような社会の仕組みをデザインすること、またはそのための学術研究と実践のこと。

#### （５）環境省国民参加事業・成果報告会での事業報告

3月15日（水）、全国の多くの地域気候変動適応センターが環境省から委託を受け進めている「国民参加による気候変動情報収集・分析事業」の成果報告会がありました。KCCACからも、事業の成果について報告を行いました。

（令和4年度の取組についてはコチラ→<https://kccac.jp/torikumi/>）

#### （６）他地域の気候変動適応センターとの情報交換・連携

KCCACは、他地域の地域気候変動適応センターとの交流、情報交換の場に定期的に出席しています。2月は、国立環境研究所気候変動適応センター主催の以下の会に出席しました。

- ・地域気候変動適応センター定例会議（2月2日（木））

#### （７）気候変動適応近畿広域協議会への出席

KCCACは、近畿という広域において共通する気候変動適応に関する課題を扱う広域協議会に参加しています。近畿広域協議会内には3つの分科会があり、それぞれ「暑熱」「ゲリラ豪雨」「お茶」をテーマに議論しています。2023年1月～3月は、以下の会合に出席しました。

- ・気候変動適応近畿広域協議会（2月2日（木））

以上の今後の進展や、他の取組についても、皆様に情報をお伝えしていきます。

\*公式ホームページはコチラ↓から！

<https://kccac.jp/>

### 3. KCCAC メンバーコラム

気候変動適応に関する身近なトピックについて、KCCACメンバーのコラムをお届けします。今回は、KCCACの一原（地球研）のコラム、「気候変動適応は地球環境保全？」です。

→[京都気候変動適応センター Kyoto Climate Change Adaptation Center \(kccac.jp\)](https://kccac.jp/)

#### 4. 編集後記

先日、KCCACのメンバーで「ヴェンデ2」という映画を見てきました。気候変動対策、特に「適応策」をテーマにしたドキュメンタリー映画で、各地で行われている様々な適応の取組を丁寧に取り上げている、とても意欲的な内容でした。

監督が京都市在住の方とのことで、府内での取組も多く紹介されていました。

- ・由良川の水害への備え、車中泊の訓練（福知山市）
- ・農地でバイオ炭の散布、パラグライダーの生地でエコバッグを作る（亀岡市）
- ・気候変動へ対応するためお茶農家で緑茶を紅茶に転換（南山城村） など

「脱炭素は我慢や忍耐ではない。『炭素文明からの脱却』であり、

『新たな文明の創造』である」

というパワーワードも出てくるなど、大変盛りだくさんな内容で、一同大いに刺激を受けました。

3月に入って急に暖かくなってきました。今年は桜の開花も平年よりだいぶ早いようですね。

季節の変わり目、皆様も体調にお気をつけてお過ごしください。

KCCAC メールマガジン、次号もお楽しみに！

小田嶋（京都府・脱炭素社会推進課）

\* KCCAC メールマガジンへの感想はこちらへお寄せください。

<https://kccac.jp/contact/>

メールマガジンの登録解除はこちらからお手続きください。

<https://kccac.jp/kaijo/>

=====

京都気候変動適応センター（総合地球環境学研究所内）

<https://kccac.jp/>

=====